

言葉や嚥下のスペシャリスト

言語聴覚士

～ 言語聴覚士の「3つ」関わり ～



1. 構音（発声・声）

口腔機能（口・舌・頬）の動きや筋力を強くする運動。

口や舌が滑らかに動かせるように口腔体操や発声・発話練習

（短文・文の音読や復唱）などを行います。



べー

元気良く大きな声を出しましょう！

舌を出してください～



2. 言葉（言語）

脳の病気によって、話す・聴く・読む・書く・計算するなどが難しくなった方・言葉が出なくなった方に対し、円滑にコミュニケーションが図れるように言語訓練（言葉や物の名前を思い出したり、引き出させる訓練）や書字訓練などを行います。

動物??



いぬ

動物の名前を挙げてみましょう。



3. 摂食（食べる）

飲み込みにくい・ムセるなど、飲み込みが困難な方に対し、「咀嚼（噛む）して、飲み込む」ために必要な器官（口唇・舌・頬）などの運動や口腔体操、飲み込みの評価、食事の形態や姿勢、安全な飲み込みの方法などの検討を行います。

- ◎口唇・舌・頬などの運動
⇒口を開いたり閉じたり、舌を前に出したり左右に動かしたり

- ◎口腔体操
⇒パタカラ発声や、頬を膨らませる運動



モグモグ

ゴクン！！



パ・パ・パ
タ・タ・タ
カ・カ・カ
ラ・ラ・ラ



言語聴覚士がどのような関わりをしているのか、少し分かっていただけただけでしょうか。言葉や嚥下のスペシャリストとして、これから春日クリニックグループの様々な部署にお邪魔します。気になることなどあれば気軽にご相談下さい。